

平成30年度（2018年度）決算

旭川市の財務報告書

〔統一的な基準による財務書類〕



買物公園と手の噴水

令和元年（2019年）9月

旭 川 市

目 次

| | | |
|-----|------------------------------------|----|
| I | 地方公会計の整備 財務書類の作成と活用 | 1 |
| II | 平成30年度の決算状況 財務書類（統一的な基準）による決算報告 | 2 |
| III | 各財務書類の説明 | |
| 1 | 貸借対照表 | 4 |
| 2 | 行政コスト及び純資産変動計算書 | 5 |
| 3 | 資金収支計算書 | 6 |
| IV | 財務書類でわかること～前年度との比較 | |
| 1 | 純資産比率 | 7 |
| 2 | 社会資本形成の世代間比率 | 7 |
| 3 | 基礎的財政収支 | 7 |
| 4 | 財務書類（連結会計）の対前年度比較 | 8 |
| | 【資料】 財務書類 | |
| | 一般会計等 | 9 |
| | 全体会計 | 12 |
| | 連結会計 | 15 |

I 地方公会計の整備

◇ 財務書類の作成と活用

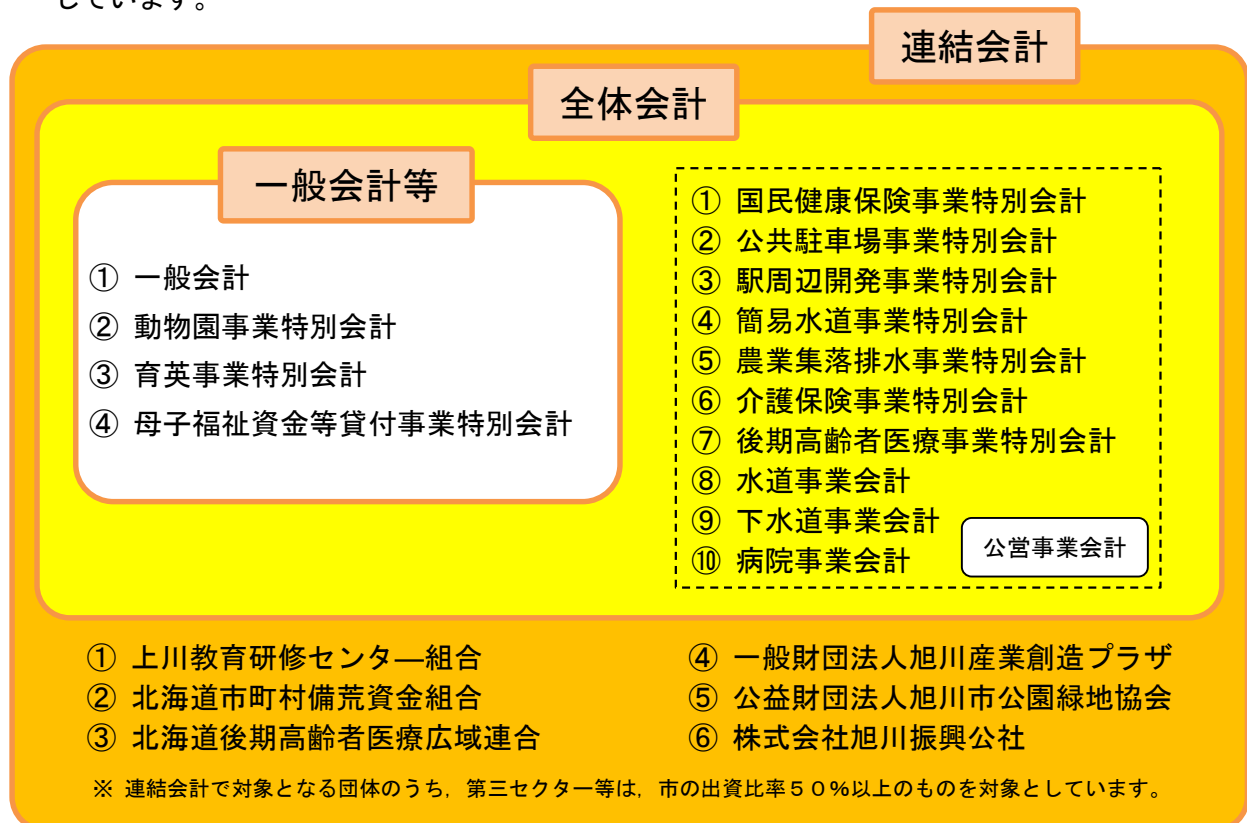
平成18年6月に成立した「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」を契機に、総務省から新地方公会計制度の指針が示され、「貸借対照表」、「行政コスト計算書」、「純資産変動計算書」、「資金収支計算書」の財務書類の作成が求められました。

この指針で「総務省方式改訂モデル」と「基準モデル」の2つの方式が示され、各地方公共団体で作成されてきました。しかし、複数の基準があることで団体同士を比較することが難しいなどの課題があったことから、平成26年度に総務省から「統一的な基準」が示され、平成29年度までにこの基準に沿った財務書類の作成が必要となりました。

こうした中、旭川市では平成20年度決算は「総務省方式改訂モデル」、平成21年度決算から「基準モデル」、そして平成26年度決算から「統一的な基準」により財務書類を作成しています。

現在ではほぼ全ての地方公共団体で「統一的な基準」による財務書類が作成されていますので、今後は類似団体等との比較を行うなど、本市の財政状況の分析にも活用していきます。

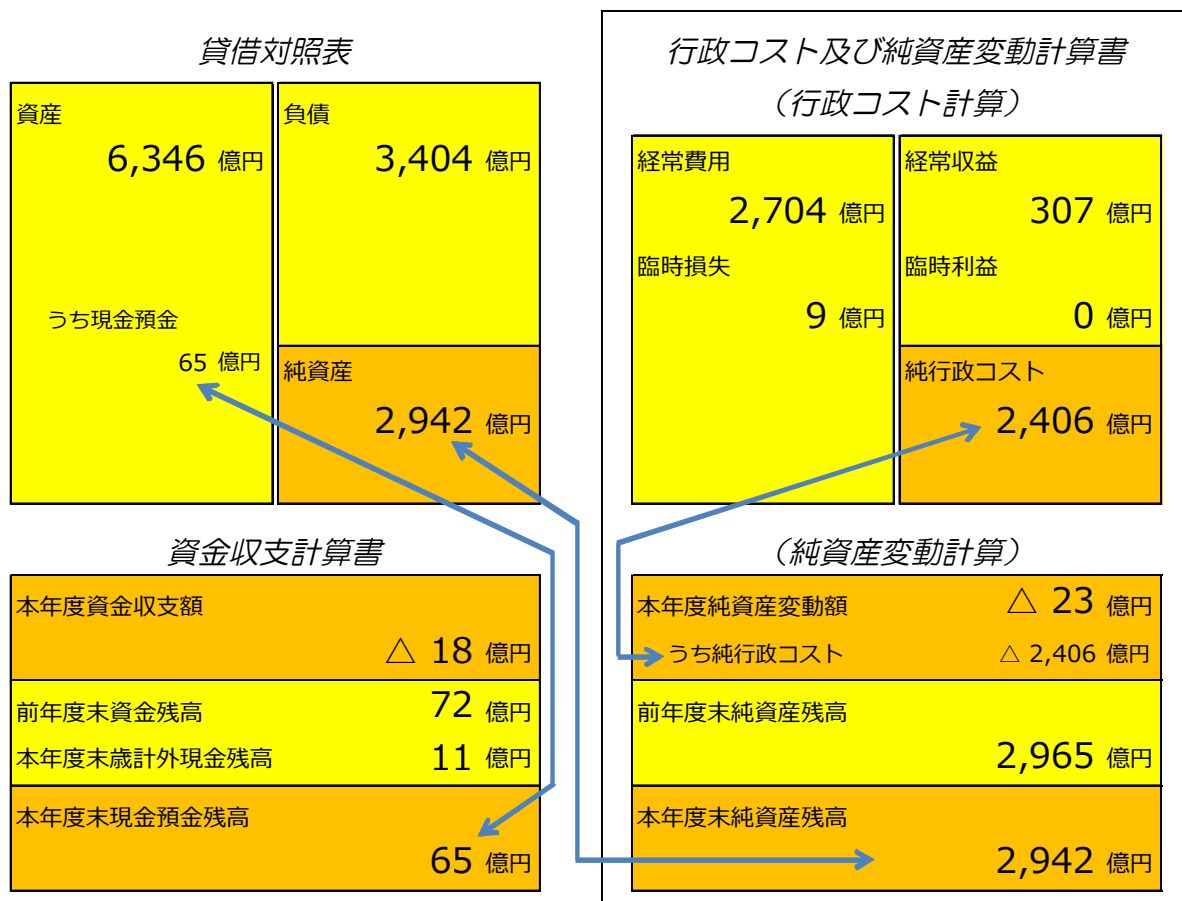
※ 財務書類は、一般会計と公営事業会計以外の特別会計からなる「一般会計等」、公営事業会計の特別会計を含めた「全体会計」、さらに出資団体等を含めた「連結会計」の3種類を作成しています。



Ⅱ 平成30年度の決算状況

◇ 財務書類（統一的な基準）による決算報告

連結会計における平成30年度決算の状況は、次のとおりです。



矢印は各表で一致する部分を指しており、それぞれの財務書類が相互に関連しています。

貸借対照表とは…

年度末時点での資産や負債などの残高（ストック情報）を表しています。

表の左側の「資産」は、旭川市が保有している道路、公園、市営住宅などの固定資産や、現金預金、基金、貸付金などの残高を表しており、市全体で6,346億円の財産（資産）を保有していることがわかります。

表の右側では、市債などの「負債」が3,404億円あり、資産から負債を差し引いた「純資産」が2,942億円となっていることがわかります。

この表は、資産をどのような財源（負債と純資産）で賄ったかを示しており、負債は将来世代の負担を、純資産は現在までの世代の負担を表しています。

資産は市民サービスを提供するために保有しているもので、将来にわたって利用されることから、市債の償還を通じて将来世代も負担するという考え方がありますので、負債と純資産とのバランス（世代間の負担のバランス）なども考慮した上で財政運営を行っていくこととなります。

また、貸借対照表は資産と負債・純資産の合計額が同じ額になることから、バランスシートともいいます。

行政コスト及び純資産変動計算書とは…

行政コスト及び純資産変動計算書のうち行政コスト計算の部分は、施設の建設・整備を除いた福祉・教育・ごみ処理・除排雪・消防・産業振興などの行政サービス費用（経常費用と臨時損失）から使用料など（経常収益と臨時利益）を差し引いた純行政コストを算出しており、平成30年度は2,406億円となりました。

また、純資産変動計算の部分は、固定資産の減少などにより、純資産が23億円減少し、残高は2,942億円となりました。これは貸借対照表の純資産の額と一致します。

純資産の変動状況を見ることで、資産の増減状況も知ることができます。

資金収支計算書とは…

市では1年間で、様々な事業を行うための支払いや、市税、手数料といった収入など、数多くの現金の出し入れを行っています。

こうした現金の流れを、行政サービスを提供する業務（業務活動）、公共施設などの資産形成（投資活動）、市債や基金などの資金調達・運用（財務活動）に分類し、表しています。

平成30年度決算では、資金収支はマイナス18億円となり、現金預金の残高は65億円に減少しました。

Ⅲ 各財務書類の説明

1 貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:億円)

| | 一般等 | 全体 | 連結 | | 一般等 | 全体 | 連結 |
|----------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|-------|
| 資産 | 4,384 | 6,264 | 6,346 | 負債 | 1,978 | 3,359 | 3,404 |
| 固定資産 | 4,298 | 6,127 | 6,168 | 固定負債 | 1,780 | 3,052 | 3,076 |
| 有形固定資産 | 4,192 | 5,923 | 5,954 | 地方債 | 1,613 | 2,294 | 2,317 |
| 無形固定資産 | 2 | 64 | 65 | 長期未払金 | 0 | 0 | 0 |
| 投資その他の資産 | 104 | 140 | 149 | 退職手当引当金 | 153 | 190 | 191 |
| 流動資産 | 86 | 137 | 178 | 損失補償等引当金 | 0 | 0 | 0 |
| 現金預金 | 22 | 41 | 65 | その他 | 14 | 568 | 568 |
| 未収金 | 5 | 40 | 41 | 流動負債 | 198 | 307 | 328 |
| 短期貸付金 | 19 | 19 | 19 | 1年内償還予定地方債 | 170 | 257 | 275 |
| 基金 | 42 | 42 | 42 | 未払金 | 0 | 17 | 19 |
| 棚卸資産 | 0 | 2 | 18 | 未払費用 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 前受金 | 0 | 0 | 0 |
| 徴収不能引当金 | △ 2 | △ 7 | △ 7 | 前受収益 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | 賞与等引当金 | 13 | 17 | 18 |
| | | | | 預り金 | 11 | 11 | 11 |
| | | | | その他 | 4 | 5 | 5 |
| 資産合計 | 4,384 | 6,264 | 6,346 | 純資産 | 2,406 | 2,905 | 2,942 |
| | | | | 負債・純資産合計 | 4,384 | 6,264 | 6,346 |

[用語解説]

| | |
|--|---|
| <p>[資産の主なもの]</p> <p>固定資産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産：庁舎・学校・公民館等の事業用資産、道路・公園等のインフラ資産など ・投資その他の資産：財政調整基金以外の基金、出資金、長期延滞債権など <p>流動資産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未収金：回収期限が到来して1年を経過していない税や使用料などの債権 ・基金：財政調整基金 ・徴収不能引当金：債権のうち未回収見込額 | <p>[負債の主なもの]</p> <p>固定負債</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方債：市債のうち、償還期限が1年超のもの ・退職手当引当金：全職員が自己都合で退職したと仮定して算出した退職金の総額 <p>流動負債</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年以内に返済や支払いを要するものや既に支払義務が確定しているものなど <p>[純資産]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資産から負債を差し引いた額で、内訳は行政コスト及び純資産変動計算書で表しています。 |
|--|---|

市が保有する資産のうち、9割以上が事業用やインフラ用の資産である有形固定資産で構成されています。これらは行政サービスや市民活動の場となるなど、市民生活やまちの形成に欠かせない社会の基盤となるものです。

また、資産の大部分を占める有形固定資産の財源として地方債を活用していることもあり、地方債及び1年内償還予定地方債が負債の大部分（連結会計で76.1%）を占めています。

2 行政コスト及び純資産変動計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:億円)

| | 一般等 | 全体 | 連結 |
|------------------------|-------|-------|-------|
| 経常費用 A | 1,341 | 2,237 | 2,704 |
| 業務費用 | 599 | 879 | 901 |
| 人件費 | 211 | 285 | 294 |
| 物件費等 | 367 | 547 | 553 |
| その他の業務費用 | 21 | 47 | 54 |
| 移転費用 | 742 | 1,358 | 1,803 |
| 経常収益 B | 70 | 293 | 307 |
| 使用料及び手数料 | 34 | 235 | 235 |
| その他 | 36 | 58 | 72 |
| 純経常行政コスト A-B= C | 1,271 | 1,944 | 2,397 |
| 臨時損失 D | 8 | 9 | 9 |
| 臨時利益 E | 0 | 0 | 0 |
| 純行政コスト C+D-E= F | 1,279 | 1,953 | 2,406 |
| 財源 G | 1,265 | 1,949 | 2,403 |
| 税込等 | 831 | 1,097 | 1,311 |
| 国県等補助金 | 434 | 852 | 1,092 |
| 本年度差額 G-F= H | △ 14 | △ 4 | △ 3 |
| 資産評価差額 I | 0 | 0 | 0 |
| 無償所管換等 J | △ 13 | △ 19 | △ 19 |
| 比例連結割合の変更に伴う差額 K | | | 0 |
| その他 L | △ 1 | △ 1 | △ 1 |
| 本年度純資産変動額 H+I+J+K+L= M | △ 28 | △ 24 | △ 23 |
| 前年度末純資産残高 N | 2,434 | 2,929 | 2,965 |
| 本年度末純資産残高 M+N= O | 2,406 | 2,905 | 2,942 |

[用語解説]

- ・ 人件費：職員給与や議員報酬，退職給付費用など
- ・ 物件費：備品や消耗品，委託料，使用料，施設維持修繕経費，事業用資産の減価償却費など
- ・ 移転費用：市民への補助金や児童福祉，生活保護，医療費給付に係る社会保障費など
- ・ 使用料・手数料：公共施設の使用料や証明書の発行手数料など
- ・ 臨時損失：災害復旧事業費，資産の除売却損など臨時に発生するもの
- ・ 臨時利益：資産の売却益など臨時に発生するもの
- ・ 税込等：市税，地方交付税など

行政コスト計算は，民間企業の損益計算に近いものですが，単に損益を表すものではなく，様々な行政サービスに要した費用（純行政コスト）を計算したものです。

この純行政コストは現在の世代が利益を受けることで発生しているものですので，使用料や手数料のほか，市税，国・道の補助金など現在の世代の負担で賄われることになります。

平成30年度連結会計における市民1人当たりの行政コストは約72万円となっています。（平成31年3月31日現在の住民基本台帳人口335,323人）

3 資金収支計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:億円)

| | | 一般等 | 全体 | 連結 |
|--------------|------------|-------|-------|-------|
| 業務活動収支 | ②-①+④-③= A | 95 | 162 | 161 |
| 業務支出 | ① | 1,215 | 2,033 | 2,503 |
| 業務収入 | ② | 1,315 | 2,200 | 2,669 |
| 臨時支出 | ③ | 5 | 5 | 5 |
| 臨時収入 | ④ | 0 | 0 | 0 |
| 投資活動収支 | ⑥-⑤= B | △ 82 | △ 118 | △ 123 |
| 投資活動支出 | ⑤ | 173 | 233 | 246 |
| 投資活動収入 | ⑥ | 91 | 115 | 123 |
| 基礎的財政収支(利払後) | A+B= C | 13 | 44 | 38 |
| 財務活動収支 | ⑧-⑦= D | △ 16 | △ 58 | △ 56 |
| 財務活動支出 | ⑦ | 171 | 341 | 358 |
| 財務活動収入 | ⑧ | 155 | 283 | 302 |
| 本年度資金収支額 | C+D= E | △ 3 | △ 14 | △ 18 |
| 前年度末資金残高 | F | 14 | 44 | 72 |
| 本年度末資金残高 | E+F= G | 11 | 30 | 54 |
| 前年度末歳計外現金残高 | H | 10 | 10 | 10 |
| 本年度歳計外現金増減額 | I | 1 | 1 | 1 |
| 本年度末歳計外現金残高 | H+I= J | 11 | 11 | 11 |
| 本年度末現金預金残高 | G+J= K | 22 | 41 | 65 |

[用語解説]

- ◇業務活動収支：行政サービスを行う中で生じる収入と支出
 - ・業務支出：人件費，物件費，補助費，扶助費など
 - ・業務収入：市税，使用料・手数料など
- ◇投資活動収支：資産の形成に関する収入と支出
 - ・投資活動支出：公共施設の整備や貸付金など
 - ・投資活動収入：土地等の固定資産の売却収入や施設建設の財源である補助金など
- ◇財務活動収支：資金の調達や運用に関する収入と支出
 - ・財務活動支出：市債の償還や基金積立金など
 - ・財務活動収入：市債の借入や基金繰入金など
- ◇歳計外現金：正式には歳入歳出外現金で，契約保証金や市営住宅の敷金などの市の所有に属していない現金のこと。

平成30年度の資金収支額は，国民健康保険の制度改革（都道府県単位化）の影響等により，連結会計でマイナス18億円となり，現金預金残高は65億円となりました。

また，財務活動収支が連結会計でマイナス56億円となっていますが，これは，主に市債の借入額より償還（返済）額が上回ったことによるもので，負債の減少（将来世代の負担が軽減）につながっています。

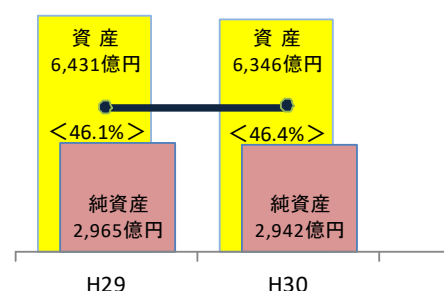
IV 財務書類でわかること～前年度との比較

1 純資産比率【純資産 ÷ 資産】

企業会計の「自己資本比率」に相当し、資産のうち返済義務のない純資産がどれくらいの割合かを表し、この比率が高いほど財政状況が健全であるといえます。

平成30年度は、主に減価償却による有形固定資産の減などで資産が85億円減少しましたが、純資産は地方債の減などで負債が大きく減少したことにより23億円の減少に留まったため、平成29年度より比率が0.3ポイント高くなっています。

| 連結会計 | H29 | H30 |
|-------|---------|---------|
| 純資産 | 2,965億円 | 2,942億円 |
| 資産 | 6,431億円 | 6,346億円 |
| 純資産比率 | 46.1% | 46.4% |



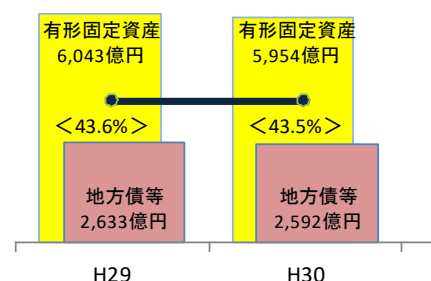
2 社会資本形成の世代間比率【地方債等 ÷ 有形固定資産】

社会資本整備の結果を示す有形固定資産（事業用資産、インフラ資産等）を地方債等（地方債、1年以内償還予定地方債）によってどれくらい調達したかを表します。

この比率が低いほど将来世代の負担割合が低いことになります。

平成30年度は、有形固定資産が減価償却により減少していますが、償還が進んだことにより地方債等も減少しているため、平成29年度より比率が0.1ポイント低くなっています。

| 連結会計 | H29 | H30 |
|--------------|---------|---------|
| 地方債等 | 2,633億円 | 2,592億円 |
| 有形固定資産 | 6,043億円 | 5,954億円 |
| 社会資本形成の世代間比率 | 43.6% | 43.5% |

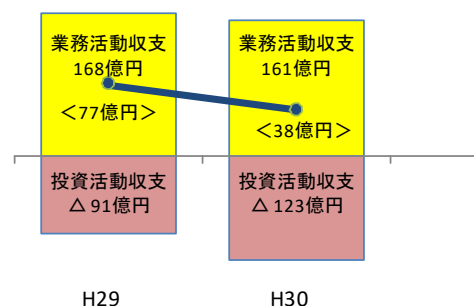


3 基礎的財政収支【業務活動収支 + 投資活動収支】

平成30年度の基礎的財政収支（プライマリバランス）は38億円の黒字となっており、行政サービスに必要な資金を借金なしに賄えていることになります。

業務活動収支が国民健康保険の制度改正（道府県単位化）等により7億円減少し、投資活動収支も公共施設等整備費支出の増などにより32億円減少したため、平成29年度より39億円減少しています。

| 連結会計 | H29 | H30 |
|---------|-------|--------|
| 業務活動収支 | 168億円 | 161億円 |
| 投資活動収支 | △91億円 | △123億円 |
| 基礎的財政収支 | 77億円 | 38億円 |



4 財務書類（連結会計）の対前年度比較

＜貸借対照表＞

(単位:億円)

| | H29 ① | H30 ② | 差②-① | | H29 ① | H30 ② | 差②-① |
|----------|-------|-------|------|------------|-------|-------|------|
| 資産 | 6,431 | 6,346 | △ 85 | 負債 | 3,466 | 3,404 | △ 62 |
| 固定資産 | 6,247 | 6,168 | △ 79 | 固定負債 | 3,130 | 3,076 | △ 54 |
| 有形固定資産 | 6,043 | 5,954 | △ 89 | 地方債 | 2,358 | 2,317 | △ 41 |
| 無形固定資産 | 67 | 65 | △ 2 | 長期未払金 | 0 | 0 | 0 |
| 投資その他の資産 | 137 | 149 | 12 | 退職手当引当金 | 193 | 191 | △ 2 |
| 流動資産 | 184 | 178 | △ 6 | 損失補償等引当金 | 0 | 0 | 0 |
| 現金預金 | 82 | 65 | △ 17 | その他 | 579 | 568 | △ 11 |
| 未収金 | 47 | 41 | △ 6 | 流動負債 | 336 | 328 | △ 8 |
| 短期貸付金 | 6 | 19 | 13 | 1年内償還予定地方債 | 275 | 275 | 0 |
| 基金 | 39 | 42 | 3 | 未払金 | 28 | 19 | △ 9 |
| 棚卸資産 | 20 | 18 | △ 2 | 未払費用 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 前受金 | 0 | 0 | 0 |
| 徴収不能引当金 | △ 10 | △ 7 | 3 | 前受収益 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | 賞与等引当金 | 17 | 18 | 1 |
| | | | | 預り金 | 11 | 11 | 0 |
| | | | | その他 | 5 | 5 | 0 |
| | | | | 純資産 | 2,965 | 2,942 | △ 23 |
| 資産合計 | 6,431 | 6,346 | △ 85 | 負債・純資産合計 | 6,431 | 6,346 | △ 85 |

＜行政コスト及び純資産変動計算書＞

(単位:億円)

| | H29 ① | H30 ② | 差②-① |
|-----------------------|-------|-------|-------|
| 経常費用 A | 2,783 | 2,704 | △ 79 |
| 業務費用 | 905 | 901 | △ 4 |
| 人件費 | 306 | 294 | △ 12 |
| 物件費等 | 542 | 553 | 11 |
| その他の業務費用 | 57 | 54 | △ 3 |
| 移転費用 | 1,878 | 1,803 | △ 75 |
| 経常収益 B | 304 | 307 | 3 |
| 使用料及び手数料 | 233 | 235 | 2 |
| その他 | 71 | 72 | 1 |
| 純経常行政コスト A-B=C | 2,479 | 2,397 | △ 82 |
| 臨時損失 D | 26 | 9 | △ 17 |
| 臨時利益 E | 0 | 0 | 0 |
| 純行政コスト C+D-E=F | 2,505 | 2,406 | △ 99 |
| 財源 G | 2,463 | 2,403 | △ 60 |
| 税収等 | 1,517 | 1,311 | △ 206 |
| 国県等補助金 | 946 | 1,092 | 146 |
| 本年度差額 G-F=H | △ 42 | △ 3 | 39 |
| 資産評価差額 I | 0 | 0 | 0 |
| 無償所管換等 J | 21 | △ 19 | △ 40 |
| 比例連結割合の変更に伴う差額 K | 0 | 0 | 0 |
| その他 L | 12 | △ 1 | △ 13 |
| 本年度純資産変動額 H+I+J+K+L=M | △ 9 | △ 23 | △ 14 |
| 前年度末純資産残高 N | 2,974 | 2,965 | △ 9 |
| 本年度末純資産残高 M+N=O | 2,965 | 2,942 | △ 23 |

＜資金収支計算書＞

(単位:億円)

| | H29 ① | H30 ② | 差②-① |
|--------------------|-------|-------|------|
| 業務活動収支 ②-①+④-③=A | 168 | 161 | △ 7 |
| 業務支出 ① | 2,556 | 2,503 | △ 53 |
| 業務収入 ② | 2,726 | 2,669 | △ 57 |
| 臨時支出 ③ | 2 | 5 | 3 |
| 臨時収入 ④ | 0 | 0 | 0 |
| 投資活動収支 ⑥-⑤=B | △ 91 | △ 123 | △ 32 |
| 投資活動支出 ⑤ | 217 | 246 | 29 |
| 投資活動収入 ⑥ | 126 | 123 | △ 3 |
| 基礎的財政収支(利払後) A+B=C | 77 | 38 | △ 39 |
| 財務活動収支 ⑧-⑦=D | △ 75 | △ 56 | 19 |
| 財務活動支出 ⑦ | 349 | 358 | 9 |
| 財務活動収入 ⑧ | 274 | 302 | 28 |
| 本年度資金収支額 C+D=E | 2 | △ 18 | △ 20 |
| 前年度末資金残高 F | 70 | 72 | 2 |
| 本年度末資金残高 E+F=G | 72 | 54 | △ 18 |
| 前年度末歳計外現金残高 H | 10 | 10 | 0 |
| 本年度歳計外現金増減額 I | 0 | 1 | 1 |
| 本年度末歳計外現金残高 H+I=J | 10 | 11 | 1 |
| 本年度末現金預金残高 G+J=K | 82 | 65 | △ 17 |

一般会計等貸借対照表

(平成31年 3月31日現在)

(単位:円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|---------------|------------------|----------------|------------------|
| 【資産の部】 | | 【負債の部】 | |
| 固定資産 | 429,805,443,557 | 固定負債 | 177,951,490,074 |
| 有形固定資産 | 419,211,385,608 | 地方債 | 161,273,745,797 |
| 事業用資産 | 189,561,821,948 | 長期未払金 | 0 |
| 土地 | 76,828,514,001 | 退職手当引当金 | 15,252,289,000 |
| 立木竹 | 1,183,892,408 | 損失補償等引当金 | 0 |
| 建物 | 260,232,160,476 | その他 | 1,425,455,277 |
| 建物減価償却累計額 | -157,949,488,219 | 流動負債 | 19,809,362,600 |
| 工作物 | 16,828,938,174 | 1年内償還予定地方債 | 17,041,861,092 |
| 工作物減価償却累計額 | -11,638,409,443 | 未払金 | 3,287,136 |
| 船舶 | 0 | 未払費用 | 0 |
| 船舶減価償却累計額 | 0 | 前受金 | 0 |
| 浮標等 | 0 | 前受収益 | 0 |
| 浮標等減価償却累計額 | 0 | 賞与等引当金 | 1,281,900,000 |
| 航空機 | 0 | 預り金 | 1,058,508,754 |
| 航空機減価償却累計額 | 0 | その他 | 423,805,618 |
| その他 | 0 | | |
| その他減価償却累計額 | 0 | 負債合計 | 197,760,852,674 |
| 建設仮勘定 | 4,076,214,551 | 【純資産の部】 | |
| インフラ資産 | 220,333,590,676 | 固定資産等形成分 | 434,641,944,317 |
| 土地 | 88,247,127,672 | 余剰分(不足分) | -193,999,738,303 |
| 建物 | 4,067,834,803 | | |
| 建物減価償却累計額 | -2,551,594,343 | | |
| 工作物 | 421,263,461,308 | | |
| 工作物減価償却累計額 | -292,248,443,408 | | |
| その他 | 0 | | |
| その他減価償却累計額 | 0 | | |
| 建設仮勘定 | 1,555,204,644 | | |
| 物品 | 27,468,503,997 | | |
| 物品減価償却累計額 | -18,152,531,013 | | |
| 無形固定資産 | 172,625,461 | | |
| ソフトウェア | 147,634,970 | | |
| その他 | 24,990,491 | | |
| 投資その他の資産 | 10,421,432,488 | | |
| 投資及び出資金 | 1,744,099,584 | | |
| 有価証券 | 301,807,165 | | |
| 出資金 | 1,442,292,419 | | |
| その他 | 0 | | |
| 投資損失引当金 | 0 | | |
| 長期延滞債権 | 2,353,934,957 | | |
| 長期貸付金 | 1,980,800,415 | | |
| 基金 | 5,434,369,434 | | |
| 減債基金 | 197,821,378 | | |
| その他 | 5,236,548,056 | | |
| その他 | 0 | | |
| 徴収不能引当金 | -1,091,771,902 | | |
| 流動資産 | 8,597,615,131 | | |
| 現金預金 | 2,211,641,498 | | |
| 未収金 | 470,974,616 | | |
| 短期貸付金 | 1,893,638,097 | | |
| 基金 | 4,205,025,718 | | |
| 財政調整基金 | 4,205,025,718 | | |
| 減債基金 | 0 | | |
| 棚卸資産 | 0 | | |
| その他 | 0 | | |
| 徴収不能引当金 | -183,664,798 | | |
| 資産合計 | 438,403,058,688 | 純資産合計 | 240,642,206,014 |
| | | 負債及び純資産合計 | 438,403,058,688 |

一般会計等行政コスト及び純資産変動計算書

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

(単位:円)

| 科目 | 金額 | | |
|----------------|-----------------|-----------------|------------------|
| 経常費用 | 134,104,218,769 | | |
| 業務費用 | 59,868,009,776 | | |
| 人件費 | 21,117,624,766 | | |
| 職員給与費 | 16,746,643,041 | | |
| 賞与等引当金繰入額 | 1,281,900,000 | | |
| 退職手当引当金繰入額 | 776,225,000 | | |
| その他 | 2,312,856,725 | | |
| 物件費等 | 36,658,048,745 | | |
| 物件費 | 15,134,559,730 | | |
| 維持補修費 | 8,967,694,557 | | |
| 減価償却費 | 12,543,831,820 | | |
| その他 | 11,962,638 | | |
| その他の業務費用 | 2,092,336,265 | | |
| 支払利息 | 1,465,540,827 | | |
| 徴収不能引当金繰入額 | 65,778,629 | | |
| その他 | 561,016,809 | | |
| 移転費用 | 74,236,208,993 | | |
| 補助金等 | 11,927,201,841 | | |
| 社会保障給付 | 51,359,857,857 | | |
| 他会計への繰出金 | 10,156,031,285 | | |
| その他 | 793,118,010 | | |
| 経常収益 | 7,031,247,388 | | |
| 使用料及び手数料 | 3,368,100,115 | | |
| その他 | 3,663,147,273 | | |
| 純経常行政コスト | 127,072,971,381 | | |
| 臨時損失 | 872,078,219 | | |
| 災害復旧事業費 | 501,236,572 | | |
| 資産除売却損 | 370,841,647 | | |
| 投資損失引当金繰入額 | 0 | | |
| 損失補償等引当金繰入額 | 0 | | |
| その他 | 0 | | |
| 臨時利益 | 0 | | |
| 資産売却益 | 0 | | |
| その他 | 0 | | |
| 純行政コスト | 127,945,049,600 | | |
| 財源 | 126,575,231,859 | | |
| 税収等 | 83,102,397,239 | | |
| 国県等補助金 | 43,472,834,620 | | |
| 本年度差額 | -1,369,817,741 | | |
| 固定資産等の変動(内部変動) | | | |
| 有形固定資産等の増加 | | -1,987,767,317 | 1,987,767,317 |
| 有形固定資産等の減少 | | 10,863,177,733 | -10,863,177,733 |
| 貸付金・基金等の増加 | | -12,950,387,428 | 12,950,387,428 |
| 貸付金・基金等の減少 | | 7,511,850,040 | -7,511,850,040 |
| 資産評価差額 | 0 | 0 | |
| 無償所管換等 | -1,288,416,442 | -1,288,416,442 | |
| その他 | -79,199,982 | 13,306,739 | -92,506,721 |
| 本年度純資産変動額 | -2,737,434,165 | -3,262,877,020 | 525,442,855 |
| 前年度末純資産残高 | 243,379,640,179 | 437,904,821,337 | -194,525,181,158 |
| 本年度末純資産残高 | 240,642,206,014 | 434,641,944,317 | -193,999,738,303 |

【様式第4号】

一般会計等資金収支計算書

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

(単位:円)

| 科目 | 金額 |
|-----------------|-----------------------|
| 【業務活動収支】 | |
| 業務支出 | 121,534,836,701 |
| 業務費用支出 | 47,298,627,708 |
| 人件費支出 | 21,157,663,766 |
| 物件費等支出 | 24,114,216,925 |
| 支払利息支出 | 1,465,540,827 |
| その他の支出 | 561,206,190 |
| 移転費用支出 | 74,236,208,993 |
| 補助金等支出 | 11,927,201,841 |
| 社会保障給付支出 | 51,359,857,857 |
| 他会計への繰出支出 | 10,156,031,285 |
| その他の支出 | 793,118,010 |
| 業務収入 | 131,512,837,973 |
| 税金等収入 | 83,117,694,234 |
| 国県等補助金収入 | 41,807,654,461 |
| 使用料及び手数料収入 | 3,381,331,970 |
| その他の収入 | 3,206,157,308 |
| 臨時支出 | 501,236,572 |
| 災害復旧事業費支出 | 501,236,572 |
| その他の支出 | 0 |
| 臨時収入 | 0 |
| 業務活動収支 | 9,476,764,700 |
| 【投資活動収支】 | |
| 投資活動支出 | 17,241,776,616 |
| 公共施設等整備費支出 | 9,729,926,576 |
| 基金積立金支出 | 1,260,057,855 |
| 投資及び出資金支出 | 0 |
| 貸付金支出 | 6,251,792,185 |
| その他の支出 | 0 |
| 投資活動収入 | 9,099,689,841 |
| 国県等補助金収入 | 1,665,180,159 |
| 基金取崩収入 | 933,474,784 |
| 貸付金元金回収収入 | 6,465,320,937 |
| 資産売却収入 | 35,713,961 |
| その他の収入 | 0 |
| 投資活動収支 | -8,142,086,775 |
| 【財務活動収支】 | |
| 財務活動支出 | 17,112,993,021 |
| 地方債償還支出 | 16,746,603,606 |
| その他の支出 | 366,389,415 |
| 財務活動収入 | 15,556,265,000 |
| 地方債発行収入 | 15,556,265,000 |
| その他の収入 | 0 |
| 財務活動収支 | -1,556,728,021 |
| 本年度資金収支額 | -222,050,096 |
| 前年度末資金残高 | 1,375,182,840 |
| 本年度末資金残高 | 1,153,132,744 |
| 前年度末歳計外現金残高 | 1,033,896,024 |
| 本年度歳計外現金増減額 | 24,612,730 |
| 本年度末歳計外現金残高 | 1,058,508,754 |
| 本年度末現金預金残高 | 2,211,641,498 |

全体貸借対照表

(平成31年 3月31日現在)

(単位:円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|---------------|------------------|----------------|------------------|
| 【資産の部】 | | 【負債の部】 | |
| 固定資産 | 612,682,221,935 | 固定負債 | 305,178,885,527 |
| 有形固定資産 | 592,301,832,136 | 地方債 | 229,446,709,500 |
| 事業用資産 | 196,359,651,796 | 長期未払金 | 0 |
| 土地 | 76,897,539,538 | 退職手当引当金 | 18,971,910,110 |
| 立木竹 | 1,183,892,408 | 損失補償等引当金 | 0 |
| 建物 | 282,382,325,173 | その他 | 56,760,265,917 |
| 建物減価償却累計額 | -173,633,937,583 | 流動負債 | 30,763,333,127 |
| 工作物 | 17,639,610,288 | 1年内償還予定地方債 | 25,706,205,990 |
| 工作物減価償却累計額 | -12,185,992,579 | 未払金 | 1,703,921,364 |
| 船舶 | 0 | 未払費用 | 0 |
| 船舶減価償却累計額 | 0 | 前受金 | 0 |
| 浮標等 | 0 | 前受収益 | 0 |
| 浮標等減価償却累計額 | 0 | 賞与等引当金 | 1,731,332,528 |
| 航空機 | 0 | 預り金 | 1,103,983,625 |
| 航空機減価償却累計額 | 0 | その他 | 517,889,620 |
| その他 | 0 | 負債合計 | 335,942,218,654 |
| その他減価償却累計額 | 0 | 【純資産の部】 | |
| 建設仮勘定 | 4,076,214,551 | 固定資産等形成分 | 619,339,346,306 |
| インフラ資産 | 370,417,879,282 | 余剰分(不足分) | -328,882,945,315 |
| 土地 | 89,884,307,308 | | |
| 建物 | 5,424,687,490 | | |
| 建物減価償却累計額 | -3,270,412,713 | | |
| 工作物 | 711,718,444,743 | | |
| 工作物減価償却累計額 | -435,857,457,420 | | |
| その他 | 0 | | |
| その他減価償却累計額 | 0 | | |
| 建設仮勘定 | 2,518,309,874 | | |
| 物品 | 80,825,733,651 | | |
| 物品減価償却累計額 | -55,301,432,593 | | |
| 無形固定資産 | 6,372,652,888 | | |
| ソフトウェア | 162,718,232 | | |
| その他 | 6,209,934,656 | | |
| 投資その他の資産 | 14,007,736,911 | | |
| 投資及び出資金 | 1,904,741,132 | | |
| 有価証券 | 301,807,165 | | |
| 出資金 | 1,464,916,419 | | |
| その他 | 138,017,548 | | |
| 投資損失引当金 | 0 | | |
| 長期延滞債権 | 3,504,213,726 | | |
| 長期貸付金 | 1,980,800,415 | | |
| 基金 | 7,264,682,778 | | |
| 減債基金 | 197,821,378 | | |
| その他 | 7,066,861,400 | | |
| その他 | 1,049,624,437 | | |
| 徴収不能引当金 | -1,696,325,577 | | |
| 流動資産 | 13,716,397,710 | | |
| 現金預金 | 4,141,084,516 | | |
| 未収金 | 3,985,475,384 | | |
| 短期貸付金 | 1,893,638,097 | | |
| 基金 | 4,205,025,718 | | |
| 財政調整基金 | 4,205,025,718 | | |
| 減債基金 | 0 | | |
| 棚卸資産 | 158,092,383 | | |
| その他 | 65,000 | | |
| 徴収不能引当金 | -666,983,388 | | |
| 資産合計 | 626,398,619,645 | 純資産合計 | 290,456,400,991 |
| | | 負債及び純資産合計 | 626,398,619,645 |

全体行政コスト及び純資産変動計算書

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

(単位:円)

| 科目 | 金額 | | |
|----------------|-----------------|-----------------|------------------|
| 経常費用 | 223,683,089,523 | | |
| 業務費用 | 87,856,946,981 | | |
| 人件費 | 28,513,666,958 | | |
| 職員給与費 | 22,500,287,309 | | |
| 賞与等引当金繰入額 | 1,731,332,528 | | |
| 退職手当引当金繰入額 | 994,420,162 | | |
| その他 | 3,287,626,959 | | |
| 物件費等 | 54,669,499,102 | | |
| 物件費 | 24,477,735,168 | | |
| 維持補修費 | 9,325,527,937 | | |
| 減価償却費 | 20,799,608,447 | | |
| その他 | 66,627,550 | | |
| その他の業務費用 | 4,673,780,921 | | |
| 支払利息 | 2,788,337,544 | | |
| 徴収不能引当金繰入額 | 328,104,027 | | |
| その他 | 1,557,339,350 | | |
| 移転費用 | 135,826,142,542 | | |
| 補助金等 | 11,262,469,630 | | |
| 社会保障給付 | 123,639,168,746 | | |
| 他会計への繰出金 | 0 | | |
| その他 | 924,504,166 | | |
| 経常収益 | 29,244,907,898 | | |
| 使用料及び手数料 | 23,518,510,134 | | |
| その他 | 5,726,397,764 | | |
| 純経常行政コスト | 194,438,181,625 | | |
| 臨時損失 | 876,096,717 | | |
| 災害復旧事業費 | 501,236,572 | | |
| 資産除売却損 | 373,587,641 | | |
| 投資損失引当金繰入額 | 0 | | |
| 損失補償等引当金繰入額 | 0 | | |
| その他 | 1,272,504 | | |
| 臨時利益 | 4,383,888 | | |
| 資産売却益 | 0 | | |
| その他 | 4,383,888 | | |
| 純行政コスト | 195,309,894,454 | | |
| 財源 | 194,859,570,552 | | |
| 税収等 | 109,632,008,375 | | |
| 国県等補助金 | 85,227,562,177 | | |
| 本年度差額 | -450,323,902 | | |
| 固定資産等の変動(内部変動) | | | |
| 有形固定資産等の増加 | | -5,530,613,686 | 5,530,613,686 |
| 有形固定資産等の減少 | | 15,363,054,884 | -15,363,054,884 |
| 貸付金・基金等の増加 | | -22,503,936,271 | 22,503,936,271 |
| 貸付金・基金等の減少 | | 9,902,687,097 | -9,902,687,097 |
| 資産評価差額 | 0 | -8,292,419,396 | 8,292,419,396 |
| 無償所管換等 | -1,883,479,461 | 0 | |
| その他 | -90,330,328 | -1,883,479,461 | |
| 本年度純資産変動額 | -2,424,133,691 | 13,306,739 | -103,637,067 |
| 前年度末純資産残高 | 292,880,534,682 | -7,400,786,408 | 4,976,652,717 |
| 本年度末純資産残高 | 290,456,400,991 | 626,740,132,714 | -333,859,598,032 |
| | | 619,339,346,306 | -328,882,945,315 |

全体資金収支計算書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

(単位:円)

| 科目 | 金額 |
|--------------------|------------------------|
| 【業務活動収支】 | |
| 業務支出 | 203,308,908,509 |
| 業務費用支出 | 67,482,765,967 |
| 人件費支出 | 28,630,668,555 |
| 物件費等支出 | 34,506,317,213 |
| 支払利息支出 | 2,788,337,544 |
| その他の支出 | 1,557,442,655 |
| 移転費用支出 | 135,826,142,542 |
| 補助金等支出 | 11,262,469,630 |
| 社会保障給付支出 | 123,639,168,746 |
| 他会計への繰出支出 | 0 |
| その他の支出 | 924,504,166 |
| 業務収入 | 220,021,680,549 |
| 税込等収入 | 109,020,993,928 |
| 国県等補助金収入 | 81,980,101,545 |
| 使用料及び手数料収入 | 23,760,304,346 |
| その他の収入 | 5,260,280,730 |
| 臨時支出 | 502,509,076 |
| 災害復旧事業費支出 | 501,236,572 |
| その他の支出 | 1,272,504 |
| 臨時収入 | 83,700 |
| 業務活動収支 | 16,210,346,664 |
| 【投資活動収支】 | |
| 投資活動支出 | 23,289,372,508 |
| 公共施設等整備費支出 | 13,516,685,411 |
| 基金積立金支出 | 3,512,387,890 |
| 投資及び出資金支出 | 8,507,022 |
| 貸付金支出 | 6,251,792,185 |
| その他の支出 | 0 |
| 投資活動収入 | 11,482,380,943 |
| 国県等補助金収入 | 2,481,694,078 |
| 基金取崩収入 | 1,758,821,606 |
| 貸付金元金回収収入 | 6,465,320,937 |
| 資産売却収入 | 721,879,410 |
| その他の収入 | 54,664,912 |
| 投資活動収支 | -11,806,991,565 |
| 【財務活動収支】 | |
| 財務活動支出 | 34,037,897,441 |
| 地方債償還支出 | 33,568,266,722 |
| その他の支出 | 469,630,719 |
| 財務活動収入 | 28,317,165,000 |
| 地方債発行収入 | 28,317,165,000 |
| その他の収入 | 0 |
| 財務活動収支 | -5,720,732,441 |
| 本年度資金収支額 | -1,317,377,342 |
| 前年度末資金残高 | 4,399,953,104 |
| 本年度末資金残高 | 3,082,575,762 |
| 前年度末歳計外現金残高 | 1,033,896,024 |
| 本年度歳計外現金増減額 | 24,612,730 |
| 本年度末歳計外現金残高 | 1,058,508,754 |
| 本年度末現金預金残高 | 4,141,084,516 |

連結貸借対照表

(平成31年 3月31日現在)

(単位:円)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|---------------|------------------|----------------|------------------|
| 【資産の部】 | | 【負債の部】 | |
| 固定資産 | 616,801,412,348 | 固定負債 | 307,684,719,479 |
| 有形固定資産 | 595,408,584,518 | 地方債等 | 231,724,026,052 |
| 事業用資産 | 199,244,554,065 | 長期未払金 | 0 |
| 土地 | 77,282,478,741 | 退職手当引当金 | 19,139,335,109 |
| 立木竹 | 1,183,892,408 | 損失補償等引当金 | 0 |
| 建物 | 288,557,761,235 | その他 | 56,821,358,318 |
| 建物減価償却累計額 | -177,952,362,088 | 流動負債 | 32,791,499,589 |
| 工作物 | 18,977,399,757 | 1年内償還予定地方債等 | 27,447,846,990 |
| 工作物減価償却累計額 | -13,345,877,739 | 未払金 | 1,898,260,070 |
| 船舶 | 0 | 未払費用 | 0 |
| 船舶減価償却累計額 | 0 | 前受金 | 12,659,381 |
| 浮標等 | 0 | 前受収益 | 0 |
| 浮標等減価償却累計額 | 0 | 賞与等引当金 | 1,755,671,092 |
| 航空機 | 0 | 預り金 | 1,144,497,276 |
| 航空機減価償却累計額 | 0 | その他 | 532,564,780 |
| その他 | 0 | 負債合計 | 340,476,219,068 |
| その他減価償却累計額 | 0 | 【純資産の部】 | |
| 建設仮勘定 | 4,541,261,751 | 固定資産等形成分 | 624,178,594,680 |
| インフラ資産 | 370,417,879,282 | 余剰分(不足分) | -330,329,552,062 |
| 土地 | 89,884,307,308 | 他団体出資等分 | 317,201,268 |
| 建物 | 5,424,687,490 | | |
| 建物減価償却累計額 | -3,270,412,713 | | |
| 工作物 | 711,718,444,743 | | |
| 工作物減価償却累計額 | -435,857,457,420 | | |
| その他 | 0 | | |
| その他減価償却累計額 | 0 | | |
| 建設仮勘定 | 2,518,309,874 | | |
| 物品 | 81,954,600,277 | | |
| 物品減価償却累計額 | -56,208,449,106 | | |
| 無形固定資産 | 6,506,537,246 | | |
| ソフトウェア | 165,720,785 | | |
| その他 | 6,340,816,461 | | |
| 投資その他の資産 | 14,886,290,584 | | |
| 投資及び出資金 | 2,306,437,497 | | |
| 有価証券 | 1,890,503,030 | | |
| 出資金 | 277,916,919 | | |
| その他 | 138,017,548 | | |
| 長期延滞債権 | 3,504,213,726 | | |
| 長期貸付金 | 1,280,800,415 | | |
| 基金 | 8,410,935,589 | | |
| 減債基金 | 197,821,378 | | |
| その他 | 8,213,114,211 | | |
| その他 | 1,080,228,934 | | |
| 徴収不能引当金 | -1,696,325,577 | | |
| 流動資産 | 17,841,050,606 | | |
| 現金預金 | 6,484,038,950 | | |
| 未収金 | 4,087,289,630 | | |
| 短期貸付金 | 1,893,638,097 | | |
| 基金 | 4,225,083,679 | | |
| 財政調整基金 | 4,225,083,679 | | |
| 減債基金 | 0 | | |
| 棚卸資産 | 1,810,796,095 | | |
| その他 | 7,374,697 | | |
| 徴収不能引当金 | -667,170,542 | | |
| 繰延資産 | 0 | | |
| 資産合計 | 634,642,462,954 | 純資産合計 | 294,166,243,886 |
| | | 負債及び純資産合計 | 634,642,462,954 |

連結行政コスト及び純資産変動計算書

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

(単位:円)

| 科目 | 金額 | | | |
|----------------|-----------------|-----------------|------------------|-------------|
| 経常費用 | 270,411,634,133 | | | |
| 業務費用 | 90,075,050,090 | | | |
| 人件費 | 29,406,963,747 | | | |
| 職員給与費 | 22,906,967,570 | | | |
| 賞与等引当金繰入額 | 1,755,671,092 | | | |
| 退職手当引当金繰入額 | 1,027,102,096 | | | |
| その他 | 3,717,222,989 | | | |
| 物件費等 | 55,315,156,885 | | | |
| 物件費 | 24,826,130,058 | | | |
| 維持補修費 | 9,398,200,452 | | | |
| 減価償却費 | 21,024,198,825 | | | |
| その他 | 66,627,550 | | | |
| その他の業務費用 | 5,352,929,458 | | | |
| 支払利息 | 2,799,565,789 | | | |
| 徴収不能引当金繰入額 | 328,291,181 | | | |
| その他 | 2,225,072,488 | | | |
| 移転費用 | 180,336,584,043 | | | |
| 補助金等 | 7,057,304,316 | | | |
| 社会保障給付 | 172,246,236,012 | | | |
| その他 | 1,033,043,715 | | | |
| 経常収益 | 30,719,256,932 | | | |
| 使用料及び手数料 | 23,520,143,490 | | | |
| その他 | 7,199,113,442 | | | |
| 純経常行政コスト | 239,692,377,201 | | | |
| 臨時損失 | 880,523,572 | | | |
| 災害復旧事業費 | 501,236,572 | | | |
| 資産除売却損 | 377,209,252 | | | |
| 損失補償等引当金繰入額 | 0 | | | |
| その他 | 2,077,748 | | | |
| 臨時利益 | 4,560,809 | | | |
| 資産売却益 | 0 | | | |
| その他 | 4,560,809 | | | |
| 純行政コスト | 240,568,339,964 | | | |
| 財源 | 240,245,470,007 | | | |
| 税収等 | 131,070,847,972 | | | |
| 国県等補助金 | 109,174,622,035 | | | |
| 本年度差額 | -322,869,957 | | | |
| 固定資産等の変動(内部変動) | | | | |
| 有形固定資産等の増加 | | -5,244,378,385 | 5,244,378,385 | |
| 有形固定資産等の減少 | | 15,856,340,873 | -15,856,340,873 | |
| 貸付金・基金等の増加 | | -22,732,148,260 | 22,732,148,260 | |
| 貸付金・基金等の減少 | | 10,709,556,146 | -10,709,556,146 | |
| 資産評価差額 | 0 | 0 | | |
| 無償所管換等 | -1,883,479,461 | -1,883,479,461 | | |
| 他団体出資等分の増加 | 0 | | | 0 |
| 他団体出資等分の減少 | 0 | | | 0 |
| 比例連結割合変更に伴う差額 | 9,351,863 | 9,351,863 | 0 | |
| その他 | -96,335,781 | 7,301,286 | -103,637,067 | |
| 本年度純資産変動額 | -2,293,333,336 | -7,111,204,697 | 4,804,872,725 | 12,998,636 |
| 前年度末純資産残高 | 296,459,577,222 | 631,289,799,377 | -335,134,424,787 | 304,202,632 |
| 本年度末純資産残高 | 294,166,243,886 | 624,178,594,680 | -330,329,552,062 | 317,201,268 |

【様式第4号】

連結資金収支計算書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

(単位:円)

| 科目 | 金額 |
|--------------------|------------------------|
| 【業務活動収支】 | |
| 業務支出 | 250,254,573,482 |
| 業務費用支出 | 69,917,989,439 |
| 人件費支出 | 29,494,737,517 |
| 物件費等支出 | 35,398,510,340 |
| 支払利息支出 | 2,799,565,789 |
| その他の支出 | 2,225,175,793 |
| 移転費用支出 | 180,336,584,043 |
| 補助金等支出 | 7,057,304,316 |
| 社会保障給付支出 | 172,246,236,012 |
| その他の支出 | 1,033,043,715 |
| 業務収入 | 266,934,555,263 |
| 税込等収入 | 130,459,833,525 |
| 国県等補助金収入 | 105,927,161,403 |
| 使用料及び手数料収入 | 23,761,937,702 |
| その他の収入 | 6,785,622,633 |
| 臨時支出 | 503,314,320 |
| 災害復旧事業費支出 | 501,236,572 |
| その他の支出 | 2,077,748 |
| 臨時収入 | 260,621 |
| 業務活動収支 | 16,176,928,082 |
| 【投資活動収支】 | |
| 投資活動支出 | 24,573,313,362 |
| 公共施設等整備費支出 | 13,993,757,216 |
| 基金積立金支出 | 4,319,256,939 |
| 投資及び出資金支出 | 8,507,022 |
| 貸付金支出 | 6,251,792,185 |
| その他の支出 | 0 |
| 投資活動収入 | 12,268,088,691 |
| 国県等補助金収入 | 2,481,694,078 |
| 基金取崩収入 | 2,543,298,735 |
| 貸付金元金回収収入 | 6,465,320,937 |
| 資産売却収入 | 721,879,410 |
| その他の収入 | 55,895,531 |
| 投資活動収支 | -12,305,224,671 |
| 【財務活動収支】 | |
| 財務活動支出 | 35,847,331,569 |
| 地方債等償還支出 | 35,358,907,722 |
| その他の支出 | 488,423,847 |
| 財務活動収入 | 30,220,002,052 |
| 地方債等発行収入 | 30,220,002,052 |
| その他の収入 | 0 |
| 財務活動収支 | -5,627,329,517 |
| 本年度資金収支額 | -1,755,626,106 |
| 前年度末資金残高 | 7,181,156,302 |
| 比例連結割合変更に伴う差額 | 0 |
| 本年度末資金残高 | 5,425,530,196 |
| 前年度末歳計外現金残高 | 1,033,896,024 |
| 本年度歳計外現金増減額 | 24,612,730 |
| 本年度末歳計外現金残高 | 1,058,508,754 |
| 本年度末現金預金残高 | 6,484,038,950 |



発行：令和元年（2019年）9月

編集：旭川市総合政策部財政課

070-8525 旭川市6条通9丁目46番地

TEL：0166-25-5672（課直通）

FAX：0166-23-8217

<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/700/731/734/d053392.html>

